



第 87 号

發行所 郡民館  
愛知縣額田郡幸田町印刷所  
岡崎活版所

# 新生活運動に期待する

## — 強く三悪追放を推進 —

内閣総理大臣

岸

信

介

◎ 明るい日本建設  
自由民主党が重要施策の一として新生活運動を提唱してから三年目、すでに全国に推進の組織も整備し、ますます活潑に展開され、成果も上りつゝある。私もこの運動の生みの親の一人として深い関心をよせてきた。発足の当初は上からの押しつけ運動だと批判したが、結局運動に対する無理解から生ずるものであり、運動の進展につれて是正されることを信じていた。近頃では国民大衆に正しく理解され力強く根をはつたものと思う。

### ◎ 国民自らの問題

新生活運動は国民自らの問題として考え努力しあう運動である。

ある人が「首相は三悪追放を重点施策の一とするが三悪追放のねらいこそ新生活運動じやないか」といわれたが、その通りで、三悪の追放は目標で新生活運動はその手段である。新生活運動が、真に成果を収めたら三悪は自然になくなるだろう。いうまでもないが、汚職、暴力、貧困の三つは誰が何といおうと現代日本の最も憎むべき悪である。今年になつてから表面化した汚職事件だけでも誠に多く、暴力事件も一向にへらない。

### ◎ 乏しさに負けず

より高い文化と平和を目指している日本がこの三悪に蝕まれつゝあることは遺憾である。一部の人は

汚職も暴力も貧困に誘因するのだという。つまり衣食足らざる処に社会悪が生ずる原因があるというのである。確かにわが国は貧しい。ある学者は、一人が人間らしい生活を営むためには一町歩の耕作地を必要とするといっている、日本には一人当りわづかに七畝足らずの耕地があるだけである。世界平均一人当り八反五畝だから十分の一にも満たぬ乏しさである。この一例でもよく分るようにわが国の貧困は動かし難いものがある。だからといってこの状態に甘んじているわけにはいかない。少しでも乏しきを生かすことによつて貧困を克服することができる筈であるし、また貧しく乏しい中にも心豊かな正しい生活がうちたてられない筈はない。貧しいから汚職が生まれ、暴力が横行するのもやむを得ないこととは絶対ない。

### ◎ 青年の奮起待つ

内外の諸問題はまさに山積している。わが国の前途は容易でない。私は今こそお互いの善意と創意工夫とそして逞しい意欲と努力を結集して国民一人残らずが起ち上らなければならぬときと思う。日本国民は、世界のどこに比べても決して劣る者

ではない。むしろ優れた民族である私は国民諸君が心を協せ手を結んで起ち上るなら、必ず前途は輝かしいものがあると思う。そしてまた必ず起ち上るに違いないと信じている。私があえて汚職、暴力、貧困の三悪追放を主唱するのも国民諸君を信じその逞しい運動としての新生活運動に心から期待するからにはかならない。(新生活通信から)

## 新生活婦人の歌

(おなごはしんじつ)

一花にや実がなる かやの実木の実  
好きな同志の新生活は  
つめて末広 後生楽  
女子は真実一つ路  
チヨチヨンと手拍子で気が揃う  
二派手な衣裳より 心が頼り  
手鍋さげても 二人のなかは  
意気と情の 結び合い  
女子は真実 一つ路  
チヨチヨンと手拍子で気が揃う  
三鳥にやとまり木 扇にや要  
女心でやさしくしめて  
家は榮える 国は富む  
女子は真実 一つ路  
チヨチヨンと手拍子で気が揃う

### 幸田郵便局の移転と 局舎新築記念郵便展

幸田郵便局局舎の新築につきまは、皆様方のお力添えにより近日竣功し、九月二日から新局舎で事務取扱の運びとなりましたことを厚く御礼申し上げます。

今後とも皆様に御満足の頂ける郵便局として一層努めたいと思えますから御指導御協力下さい。

この機会を利用して郵便事業についての理解と知識を深めて頂くため新築局舎で、八月二十五日、二十六日の二日間局舎新築記念郵便展を開催しますから御誘い合せ御参観下さいませようお待ちしております。

尚この催しに花を副える意味で切手集めに趣味をお待ちの方の秘蔵品の展示が願えれば幸甚の至りです。

幸田郵便局

はたらいて貯めて  
貧乏 さようなら  
— 減税分を郵便貯金へ —

### また四人死んだ

— 七月の交通事故 —

うだるような暑さは、私達の身心もろけさすような倦怠感を生じさせます。

こんな時に起り易いのが交通事故なのです。昨年も七月と八月の発生は他の月に比べようもない位激増しましたが、今年もまた御多聞にもれず上昇の傾向にあります。七月交通事故で亡くなられた方が四人もあるのです。

暑い時の交通事故の原因は、山や海に出かける時、自動車の定員を越えて乗つたり、無免許で運転したり運転手が夜更かしをして居眠り運転をしたためにおきる場合が最も多いようです。

この他ぼんやりして道路を歩いたり、子どもが路上で煙火その他の遊びに夢中になつて事故の被害をうける場合が少くありません。

これからますますふえる自動車の交通から身を護り、平和な生活を送るために、ほんの僅かの注意を怠らないようお互いに気をつけあいましょう。

岡崎警察署長  
幸田巡査部長

### 陸上 海上 航空 自衛官志願案内

— 三十二年度第二次防衛庁募集 —

一、採用予定人員と予定期日

区分	人員期日
二等陸士	二 等海士
二等空士	
予定期日	一月上旬 一月中旬 一月末 二月上旬
予定人員	約一万名 約五百名 約一千名

二、応募資格

日本の国民で心身共に強健な男子で次の各項に該当する者

1 年令 十八〜二十五才未満

2 学力 中学校卒業程度

3 次の各項に該当しない者

ア 禁治産者か準禁治産者

イ 禁こ以上の処刑者

ウ 懲戒免職処分をうけ二年すぎぬ者

エ 憲法や政府を暴力で破る主張する政党を結成し又は加入した者

三、受付期間六月〜九月二十日

四、試験

1 期日 十月八日〜二十六日

2 筆記試験(国語、数学、社会)

口述試験、身体検査

3 身体検査基準

身長 一五五種以上

胸囲、体重は身長に相応すること

視力 〇・六以上(〇・八海士)

聴力 正常  
休く 完全、強健

五、詳細は役場総務課へ問合せの事

— 三菱レイヨン

幸田工場に香る —

### うるわしい花四輪

七日、明るい瞳の乙女が役

場厚生課の窓口を訪れ「私たち同志四人が心づくしの贈物です。お粗末ですが真心をかつて、とうが九州地方の水害被害者の方々にあげて下さい」と上衣五着、下着五着を始め、下駄、靴下、服地、布切等々、たくさん品々をま新しい大風呂敷二包(見積価格約八千円)にして持参し名前も告げずに立ち去つた。

この殊勝な行為に感じた厚生課では、早速三菱レイヨンに問合せた結果左記四名の善行であることがわかり人々を感動させている。

こゝに芳名を掲げて感謝します。

三菱幸田工場勤労課勤務

(持参者)

中村 郁代さん

小山喜和子さん

林 京子さん

戸田 照子さん



炎天下に  
竜虎相うつ

—盛会だった相撲会—  
八月三日、おなじみの幸田小学校  
東庭土俵で第二回相撲大会が催され  
昨年にもまさる盛会を極めた。  
成績は左の通り

区分/等級	一	二	三	四	五
小学校	豊坂	深溝	荻谷	坂崎	幸田
中学校	深溝	大草	荻谷	荻池	坂崎
青年団	坂崎	豊坂	坂崎	相見	荻谷
公民館	坂崎	高力	大草	野場	荻谷
			上六栗	岩堀	鷺田

三 役

大関 東京ヶ峯○(林伊三郎) 坂崎  
西 相見川×(谷川正敏) 高力  
東 三笠山○(内田俊彦) 高力  
関脇 西 大舟山×(斎藤智計) 深溝  
東 上の里○(稲吉栄一) 上六栗  
小結 西 豊の湖×(杉浦英一) 豊坂

外貨危機突破は  
節約と貯蓄で  
輸出の振興  
貯蓄増強中央委員会

産業祭入賞者名簿

八月一日

等級	品目	部落	氏名
優等	簡易洗濯機	上六栗	岩瀬 ぶく
(5)	玉葱	海谷	河井 正
	西瓜	大草	小川 為次
	桃	逆川	長坂 謙一
一等	白刺子	幸田	牧原 惣一
	夜具地	海谷	亀沢 敏雄
	レインコート	久保田	山本 秋子
	調理台	野場	三輪 露
	小麦	大草	味岡 午太郎
	大豆	新田	志賀 武夫
	葱	荻池	稲吉 清
	馬鈴薯	野場	杉浦 市行
	西瓜	大草	杉浦 勇
	西瓜	坂崎	黒柳 新太郎
	西瓜	東部	石川 朝吉
	黄瓜	六栗	鳥居 泰夫
	ニユメロン	鷺田	成瀬 秀之
	鶏卵	野場	伊沢 常市
二	二八		
三	五八		

幸田町農業委員名簿

(七月三十日当選)

議席	氏名	生年月日	年令	住	所	備考
17	大須賀 一三夫	明45	42	上六栗	字中切九八	
25	鈴木 正夫	大34	42	久保田	字角田一	推せん
2	鈴木 良逸	大33	42	大草	字羽根六五	
1	本多 伴吉	22	68	荻池	字新田三二	会長
13	天野 源四郎	25	64	野場	字三田堂四六	
16	杉浦 正	31	58	深溝	字東長田一七	
19	内田 義治	34	55	荻字	以五八	
12	小玉 五市	25	65	荻池	字西脇二六	
5	山本 正夫	41	49	大草	字寺西五一	推せん
8	大津 米太郎	明21	69	坂崎	字揚り山二七	
6	春日 井三郎	大11	35	逆川	字大岩三四	会長代理
22	田境 忠治	大11	57	須美	字元屋敷二五	
14	浅井 与市	明35	54	荻池	字山の郷四一	
20	神本 徳市	大6	39	深溝	字上池田一三	
18	谷川 八郎	大42	48	高力	字顯谷七四	
26	鴨下 助市	33	57	荻池	字寺西九〇	
23	石川 佐市	36	53	深溝	字門前二五	
4	杉浦 美代治	明39	50	荻池	字東部六五	
21	小林 岩夫	大4	42	坂崎	字形添八の一	
3	福沢 春治	大4	42	深溝	字櫓下七	
10	宇都 野武夫	37	53	荻谷	字北屋敷二九	
24	天野 計雄	36	54	野場	字三田堂三一の一	
9	稲吉 銀次郎	38	52	荻字	城跡六六	
15	中村 賢治	33	57	荻池	字東馬場前一〇	
11	灰野 九三	33	56	長嶺	字東馬場前一〇	
7	清水 嘉助	明39	49	幸田	町大字大草字羽根二四	推せん

壽大学開講にあたり

うら盆も静かに終えて見渡す限り豊年を思わせる緑の波も濃さを増し一刷毛の白雲が三菱レイヨンの煙突をかすめ、残りの暑さがじり／＼と蟬の声と一しよにしみ入るような今日、高令の皆様方が益々お達者でい

先にお慶び申し上げます。さて「としよりを大切にす度合でその国や町の文化の程度をはかることができる」といわれますから、国がとしよりの生活を保障する制度を速かに確立すべきであるが、これと同時に国民のすべてが前の世代の功勞者である老人を尊び敬い親愛の心をもつて常々その幸福を考えたとしよりと若い人たちが協調してお互いの立場立場を尊重し、とけあつてこそ明るい住すよい社会が建設されるのであります。家庭でもよく敬老してとしよりを中心に、いつも笑顔でにこにここと朗らかに楽しく顔のしわや腰をのばして命の洗濯ができ

るような敷居を高める生活を創り出そうと、今度新生活運動第二年進出展への段階として割合に時間の融通や身体にゆとりのある皆様方の協力を仰いでともども「明るい町作り」に精進し、特に「明るい人間関係をうちたてるために」寿大学を開講して研修を希うわけでありませう。

幸い大勢ふるつてお出かけ下され心から歓んでいる次第です。どうか主任講師を囲んで昔とつた杵づかに一鞭くれ、流れる汗もものかわ鼻たれ小僧を向うにまわし「花の八十はまつ盛り」の元気で、大いに話し合い、よく考えて明日の幸田をもう一べんおらが手で真の日本一に仕上げる意気にもえて、ゆるみがあるな輝をしめなおして有終の美を發揮されますよう希望してごあいさついたします。

昭和三十三年八月十三日

寿大学学長 本多伴吉

寿大学生名簿

区	長保嶺	坂久保	大草	鷲田	新田	岩瀬	横落	萩谷	芦谷	幸田	里谷	海谷	市場	上野	六野	桐栗	永美	須美										
男	小野村健一	中山嘉四郎	杉浦次郎	磯部順一	川口伊市郎	成瀬与一	鈴木忠吉	都築忠助	浅井五郎	星野仁吉	松田幸吉	内田省吾	加藤五郎	山崎太郎	内藤喜市郎	大須賀斧吉	成瀬斧吉	加藤七左門	山崎東吉	山崎東吉	音部新吉	近藤市吉	近藤市吉	伊藤之助	伊藤之助	田境次郎		
生年月日	1923.5.3	1919.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	1915.12.1	
女	山本恵起	村上めい	仲井い志	谷川か	山本恵起	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か	谷川か
生年月日	1923.5.3	1923.5.2	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3	1923.5.3
準(女子代)	安藤勇	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市
氏名	安藤勇	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市	高橋助市
生年月日	1923.3.31	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10	1923.9.10

祝合併

はやね



幸田町附近の蝶

高橋規矩

蝶は花と春の自然を飾る景物として知られているが、たいてい散る花と運命を共にして死んでゆく中にウラシギンジミのように蝶のまま冬を越すものもある。蝶の幼虫のすべてが植物を害食する。しかも同じ蝶の幼虫は同じ植物をたべるから、両者の分布は密接な関係がある。

幸田町は、地形と気温の変化に富むので、いろいろの植物がよく茂るから蝶の種類も七十五種を数え、日本の蝶全体(一八三)の四割もいることになる。

ちよつとむつかしいが、蝶は分類学の上からいえば、昆虫綱、鱗翅目、蝶亜目に当り更に次の七つに細かく分けられている。

- 1 セセリチョウ科 2 マダラチョウ科
- 3 アゲハチョウ科 4 タテハチョウ科
- 5 シロチョウ科 6 シジミチョウ科 7 ジヤノメチョウ科

蝶分類目録

昭和二十五年から三十二年八月まで四季を通じて私の採集した蝶で多いものから順にならべた。

- 1 イテモンジセセリ
- セセリチョウ科

- 2 オオチャバネセセリ
- 3 コチャバネセセリ
- 4 ミヤマセセリ 5 キマダラセセリ
- 6 ダイミヨウセセリ
- 8 アオバセセリ 9 ホソバセセリ
- アゲハチョウ科
- 1 クロアケバ 2 ナミアゲハ
- 3 キアゲハ 4 アオスジアゲハ
- 5 モンキアゲハ (七月下~八月上)
- 6 ギフチョウ (四月八~十日午前十時~十二時)
- 7 ジャコウアゲハ
- 8 カラスアゲハ 9 オナガアゲハ
- 10 ミヤマカラスアゲハ
- 11 ウスバシロチョウ
- シロチョウ科
- 1 モンシロチョウ
- 2 ツマグロキチョウ
- 3 モンキチョウ 4 キテヨウ
- 5 スジクロシロチョウ
- 6 ツマキチョウ 7 ヤマキチョウ
- 8 スジボソヤマキチョウ
- シジミチョウ科
- 1 ベニシジミ 2 ウラナミシジミ
- 3 ヤマトシジミ 4 ウラギンシジミ
- 5 コツバメ 6 オオミドリシジミ
- 7 ジョウザンミドリシジミ
- 8 ミドリシジミ 9 ムラサキシジミ

- 10 ウラゴマダラシジミ
- 11 ゴイシジミ 12 ルリシジミ
- 13 ツバメシジミ
- 14 ミズイロオナガシジミ
- 15 ウラナミアカシジミ
- テングチョウ科
- 1 テングチヒウ
- マダラチョウ科
- 1 アサギマダラ
- タテハチョウ科
- 1 ウラギンズシヒヨウモン
- 2 アカタテハ 3 ヒメアカタテハ
- 4 ヒオドリシチョウ 5 ルリタテハ
- 6 ゴマダラチョウ
- 7 イチモンジチョウ
- 8 メスグロヒヨウモン
- 9 アサマイチョウ
- 10 コミスジ 11 オオミスジ
- 12 ミスジチョウ 13 キタテハ
- 14 ウラギンヒヨウモン
- 15 オウウラギンヒヨウモン
- 16 オオウラギンズシヒヨウモン
- 17 タモガタヒヨウモン
- 18 ツマグロヒヨウモン
- 19 ミドリヒヨウモン
- 20 サカハチチョウ
- 21 コムラサキ
- 22 オオムラサキ 23 スミナガシ
- ジヤノメチョウ科
- 1 キマダラヒカゲ 2 クロヒカゲ
- 3 ジヤノメチョウ 4 ヒメジヤノメ
- 5 コジヤノメ
- 6 ヒメウラナミジヤノメ
- 7 ヒカゲチョウ 8 ヒメヒカゲ

足助香嵐溪吟行

大草分館

即詠

- 清流に糸乗るる人をおちこちに眺めてバスは山峽をゆく 橋 照山
- 鐘の音は茂みを流る夏真昼深山路ふかき寺にいこえは 川口清子
- 人里を遠く離れし禅寺は大き木魚の朱塗もさびて 小川きみ
- 緑蔭にボール遊びし子等は皆帰りにて禅寺真屋となれり 小野みね子
- 古寺のお庭は墓の苔むしてひこ一群の枯梗色あせて咲く 味岡不辰
- 滝壺ゆ流るる水に手をひたしあな涼しけれ心も身にも 足立竹友
- ためらいし心河鹿にひかされて七里街道をバスにゆれゆく山下よし子
- 蟬鳴ける飯盛山に息をつぎ木蔭涼しく友と語りぬ 小川静子
- あいつれて登る石段頭上なる木々の梢に蟬時雨する 水野みゆき
- 深緑の山より吹ける涼風に真夏わする、香積禅寺 足立幸山
- 不動明王あらたかにして大いなる巖におつる滝の涼しさ 山本 泉
- はげしきは善人の性か杉の秀天壇をつく夏山の真昼 坂部蒼生
- 懐に風を入れつゝ木下闇の奥に眼をやるもののゆるるに 杉浦亮一

### お盆の話 M

お盆といつてもそのいわれをご存じの方は案外少ないようです。特に若い方は盆踊りや盆唄を通じて一種のレクリエーションに感じられていく向も多いようです。しかしお盆にはもつと人間生活の厳粛な思想的な意味あいも十分に含まれているもので、こゝにとりあげる目蓮尊者の話などもこの意味で忘れてはならない話の一つです。たゞ浮れ気分のお盆を迎えるよりもその意義が何であるかを先祖の御霊と共に考えてみましょう。

お釈迦様の十大弟子の中に神通力第一といわれる目蓮尊者がいました。大層親孝行であつたが、その母親は反対に非常に無慈悲な邪心の人でありました。そのため死ぬとたちまち餓鬼道におちて苦しんでおりました。これを神通力で知つた目蓮尊者はこの母を救いたいと思われ、色々の食物、飲物を整えて母の処へ持つて行き与えようと思つたと、食物はたちまち焔になつてどうしても母の口に入りませんでした。尊者は大へん悲しみ、師のお釈迦様の処へ行つて母を救う道について

教えを乞いました。お釈迦様は、「お前の母はけんどん邪見の業によつて餓鬼道におちたもので自業自得ではあるが、たゞお前が最もよい功德を積んだなら母をその罪障より救うことができよう。幸いに七月十五日は九十日間の修業の終る日で多くの仏弟子が下山する日だから、その方々を接待して布施供養することは一番よい功德をつむことである」と。そこで、早速尊者はうら盆会を設けて罪深かつた母を餓鬼道の苦しみから救ふことができた。

— 仏説盂蘭盆経による —

とき 九月一日(日)九時から

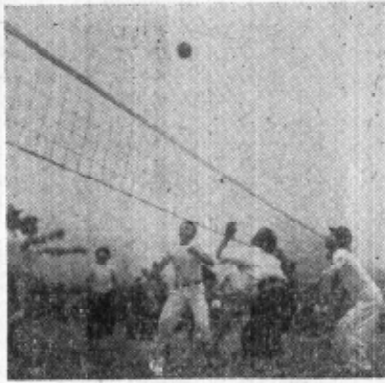
(雨天順延)

### バレエボール

— 分館対抗 —

ところ

幸田中学校校庭  
主催 幸田町公民館



### ひるねの注意

暑い季節は身体がだるくなり、昼間でも眠気を催しがちです。気が遠くなつてきて、手足から力がぬけていくのがわかる時「このまゝさうつと眠れたらどんなに幸だらう」と思うのは誰でも同じことではないでしょうか。特に自由に眠れない時に、こんな経験をします。

昔は昼寝は怠け者で行儀の悪い人の代名詞に考えられていて、子女の教育のやかましい家では、相当に戒められたものでした。現在ではこの考え方はかなり改められて保健衛生上合理的に考えられるようになりました。勿論怠惰な習慣を作るきつかけになつてはいけないのですが。

夏は何といつても、日が長い上に活動的な行動が多くエネルギーの消耗もこれに伴ない、また夜更しのために睡眠が少なくなることが多く、活動と休養のバランスがとりにくくなります。このアンバランスを続けるといつたまにか疲労を蓄積して体力を弱めたり、活動力をにぶらせたりひいては早老の結果ともなります。何等かの方法でこのアンバランスを調整する必要があるわけですが、そ

の方法の一つとして昼寝を考えて見ましょう。

一日中家庭にいる場合、殊に主婦は次々に家事に追い廻されて昼寝する暇もないという方は、その日の仕事の計画を時間的に割振りして午後二時前後に三十分か四十分の時間をくり出して昼寝をなさるようお奨めします。人によつては二〜三時間位ねないと却つて気分が悪くなるという人がありますが、午睡の時間を長くすることは夜更かしになり悪循環を来しますから、短時間にぐつぐつ眠れる習慣をつくることです。

勤人の場合は長い乗物時間利用もよいし、昼休の時間を使うのもよいと思ひます。上手に眠るためには、神経に刺激の少くなるような環境を掴ぶことが先づ必要ですが、短時間によくねて、起きてすぐ活動するためには、畳に長々とねそべるよりも少し傾斜のゆるい安楽椅子の方がよいと思ひます。目覚しでもかけておけばね過ぎ心配もなく眠れるわけです。特に注意したいのはどんな暑い時でも、風通しのよい処はさけた方がよい事と、裸でねないことです。これは体の水分の蒸発が激しいため逆に疲労することになつたり、寝冷えしたりするからです。蚊や蠅のいないことは勿論です。

### 八月のメモ

じつとしていても汗のじむむ日が続きます。涼しい住みかたを考えてみましょう。

涼しく住むためには、先づ日光を部屋の中に入れないこと、風通しをよくすること、地面や他家の屋根からのてりかえしを防ぐことなどが大切です。日光をさえぎるために、どこの家でもスダレをよく使いますが、これは窓や戸口からなるべく離して外側にさげた方が風通しがよくなります。へちま棚があればよい効果的です。

風通しをよくするために、戸をあはなすのはどこの家でもしています。一つしか窓のない時は、片方によせておくよりまん中によせて、両側を風が通るようにした方が風が動いて涼しいものです。

窓をあけておくと、虫がとびこんできてうるさいので、網戸を作ると便利です。必要なだけ買ってきて木の枠を作り頭の平べたい釘でうちつけます。こういうことは、やつてみると案外やさしいものですから、女にはできないときめてしまわずにやつてみましょう。網戸を入れると、

カヤのかわりにもなります。

また庭え、リンゴ箱などで、屋外テーブルを作り、夕方家中みんなで冷えた果物をたべるのも楽しいものです。スイカ、青リンゴなどおいしい果物の多い月です。

寝衣や下着の洗濯、洋服のアイロンかけなど、てきばきかたづけておかないと汗で汚れますから、着がえに困ります。

紫外線にあたるのはよいことです。あまり紫外線をうけすぎると日射病になりますから、外出の時は必ず帽子をお忘れなく。

### 世界の人口は

—どれくらいでしよう—

国連本部一九五六年発表

—一九五四年—

アジア	二六億五二〇〇万	推計
ヨーロッパ	一四億五〇〇〇万	五五%
アメリカ	三億五八〇〇〇万	
アフリカ	二億一〇〇〇〇万	
1 中国	五億八二〇〇〇万	
2 インド	三億七〇〇〇〇万	
3 ソ連	二億一四〇〇〇〇万	
4 アメリカ	一億六二〇〇〇〇万	
5 日本	八九〇〇〇万	

### よい子のみなさんに

水野 鐘一

子ども銀行が日本で初めてできたのは昭和二十三年一月ですが、それからもう九年余りにもなりました。

そして子供銀行、子供郵便局、子供協同組合など全国で二万九千余もでき、貯金者は八百八十二万人、貯金額は百十二億円になつた。

しかし私はこの数字に表われた成績もさることながら、もつと形に表われない精神的なものに非常に尊いものがあると思います。それは皆様方が「子ども銀行」という貯蓄のための仕組の中で人として立派な性格や、良い習慣を学び、それを身につけておられるということです。

貯蓄は、お金をためることではありませんが、ただそれだけではありません。私たちの日常生活に深いつながりをもつていふことも忘れてはなりません。

つまり貯蓄をうみ出していくためには生活の中からむだを省く工夫も必要であり、物を大切に心がけなければならない。何のために貯蓄するかという目的、つまりゆめを持つことも大切です。また貯蓄がなりたつためには人と人との間の信用という

ことも欠くことができません。

学校の教育が「なす事によつて学ぶ」ということから始まるように、日常の大切な態度や心がけをくり返しくり返し体験することによつて堅実な明るい性格を作り上げ、また勤儉貯蓄の強い心が養われていく。

私は、皆さんにこのような立派な性格と良い習慣を「子ども銀行」を通じてぜひ身につけて頂きたいと期待し、念願しています。

こういう立派な性格や良い習慣をつけることが取りもなおさず貯蓄の何よりの成果であると考えます。

そうして、木の葉から落ちた一しづくが、やがて小川となり更に大河に注いで「ダム」となり工場の機械を動かす、電車を走らせ、家庭を明るくするように皆さんの貯金も一人一人の額は少くてもやがて集められて日本の産業を興すための資金になるとともに、皆さんも小さい時から立派な性格や良い習慣を身につけて次々と世に出られ、これからの日本をますますよい国にせられることを期待しましたそれを固く信じています

(愛知県貯蓄推進委員会会長  
愛知県副知事)